

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	有害鳥獣等被害防止対策事業		担当課名 農林水産課
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 イノシシ、サル、シカの有害鳥獣による農作物への被害軽減を図る。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 農作物被害金額の前年度比減 R06調査被害額 14,689千円 【達成値(R7実績値)】 農作物被害金額の前年度比減 R07調査被害額 4,753千円	■具体的取組 ○イノシシ等被害防止対策事業補助金 ・イノシシ(成獣) 10,000円/頭 ・イノシシ(成獣) (R7/11/15～) 12,000円/頭 ・サル(成獣) 20,000円/頭 ・シカ(成獣) 15,000円/頭 ※幼獣の奨励金は、成獣の1/2とする。 ・狩猟免許の取得者助成 100,000円(銃)、30,000円(罠) ○有害鳥獣被害対策助成金 ・電気柵等(最大3段) 124円/m、段 ・ワイヤーメッシュ柵 510円/m ○鳥獣被害対策実施隊 隊員数45人 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○イノシシ等被害防止対策事業補助金 10,155千円 ○鳥獣被害対策実施隊員報酬 574千円 ○有害鳥獣被害対策助成金 477千円 (ワイヤーメッシュ柵等) ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○イノシシ等被害防止対策事業補助金 ・交付者数(捕獲) 60人 ・交付者数(免許取得) 4人 (27年度～累計 52人) ○鳥獣被害対策実施隊 ・隊員出勤延べ人数 270人 ○有害鳥獣被害対策助成金 ワイヤーメッシュ柵等設置 552m ○捕獲頭数 イノシシ 414頭 (27年度～累計 8,740頭) サル 101頭 (27年度～累計 1,726頭) シカ 317頭 (28年度～累計 2,260頭)	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 農作物被害金額の前年度比減 達成 本市における有害鳥獣による農作物の被害対策については、「寄せ付けない環境作り」「侵入防止施設の整備」「捕獲の奨励」の3本柱で積極的に取り組んでいる。それぞれ、「県・市と地元での追い払い講習の実施」「市単独補助金による防護柵設置支援」「国・県補助金等を活用した奨励金の交付」で対応している。近年鳥による被害が増大しており、状況が多様化してきている。 農作物被害については、前年に比べて被害面積が6割減少し被害額が7割減少した。これはイノシシ・サルについては農地に出てくる数が減少していた事と、被害額を押し上げていたヒヨドリによるブロックリー被害やアライグマによるイチゴ等の被害が抑えられていたことによる。	■検証結果を受けての具体的対応 農作物被害金額の減少 これまでの基本姿勢「寄せ付けない環境作り」「侵入防止施設の整備」「捕獲の奨励」の3本柱を継続するとともに、有害鳥獣の個体数を減らすために必要な狩猟者の確保を図るよう、新規免許取得者に対する助成制度の周知を積極的に行き組む。これに加え、ワイヤーメッシュ柵等の設置支援及び地元における有害鳥獣の追い払い対策を支援する。追い払い対策としては、農作物被害防止対策協議会が市の補助を受け、有害鳥獣駆逐花火の配布を行っている。また、従来の捕獲だけでなく侵入防止対策の支援を普及センター指導のもと、農家に対して行っていく必要がある。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。